



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2015年10月①号

市長の政治姿勢が問われる！

10月1日開催された京都市会本会議において、日本共産党井坂市会議員の市長に対しての質問で、核兵器廃絶への決意について、市長は、『京都市の市長として、世界恒久平和の実現に向けて、不断の努力を続ける決意』と述べました。さらに、井坂議員は、安保法制（戦争法）について、市長に対して、市長自身の考えを聞きましたが、市長は、自らは応えず、副市長が答弁しました。

井坂市議：①ほとんどの憲法学者、歴代の元内閣法制局長官、元最高裁長官などが違憲であると表明し反対している戦争法は立憲主義に反するとの認識がありますか。②成立直後の世論調査でも80%が説明不足、50%以上が反対している法案の採決を強行したことを是としますか。③政治家として自らの意見を表明すべきと思いませんか。お答えください。

塚本副市長：平和安全法制関連法の成立は、我が国を取り巻く安全保障環境の変化を考慮し、我が国の平和と安全を維持し、国民の命と暮らしを守るとともに、国際社会の平和と安定への貢献について、国権の最高機関である国会において議論し、結論を出されたものであると認識。平和安全法制については、憲法との関係を含め、国家、国民の基本に関わる事項として、国民全体の理解を深めていくことが何よりも大切。国においては、世論の状況も踏まえううえで、本法制について、引き続き国民への十分な説明を果たしていただく必要があるものと考えている。

本田久美子さんを民主市政の会、日本共産党京都府委員会が推薦を決定。

安保法制（戦争法）を廃止させるために、力を尽くすことを決意されている本田久美子さんに、期待の声が広がります。安倍政権の下、社会福祉を削減し、防衛費（軍事費）を膨大させていく国に対して、市民の命と暮らしを守るために、しっかりと国に対してもの言える市長が必要です。「国の動向を見守る」なんて言っている市長では、市民の暮らしも平和も守れません！



議会報告 補正予算審議報告

「訪問介護の現場に 無資格者の導入は許されない！」

京都市は2017年4月より、介護認定が要支援の方に対しての、訪問介護（ヘルパー）に対して、家事の援助は、無資格者のボランティアの方でもできるということを想定し、「元気な高齢者を中心にボランティアを募集し、1回半日を3回程度の研修で、家事援助に派遣する」モデル事業を社会福祉協議会に委託して行うとして200万円の予算をつけました。

玉本市議は介護現場の実態を調査し、家事援助であっても、介護保険の厳しい条件の下でヘルパーさんやケアマネジャーが苦勞しながら、援助をしている実態や、専門の知識や経験が必要であること、わずかの研修でできるものでないことなどを示し、必要なホームヘルパーの訪問介護は継続すべきと追及しました。

つぶやき：北区は60周年が目白押し

北区は今年、上京区から分れて、60年です。区役所や消防分団、体育振興会など、記念の式典や行事が開催されています。先日は上賀茂神社で、消防分団の60周年の式典と催しが開催されました。消防音楽隊の演奏が素晴らしかったです。以前は、消防職員の一つの部署として、配属されてから、楽器を始める方もあって聞いて、驚いていましたが、最近は、嘱託職員として、楽器をやっていた方を専任で採用しているとのこと。10数年前に比べるとかなりレベルが高くなっていると思っていたのですが、それで納得しました。最近、私はクラリネットをまた吹き始めました。高校の時のようにうまく吹けません、やっぱり楽しいで



千本北大路の朝宣伝
合わせましょう！

街頭で野党の共同を広げたいと宣伝していたら、自転車で男性が近づいてきて、やかましいと言われるのかと思っただけで、なんとと頑張れよ」と励ましの声援でした。選挙協力となると難しいこともあると思いますが、一刻も早く戦争法を廃止させなくては、自衛隊員の死者が出るかもしれない。安倍首相はほとんど武器兵器を買い付けていく。すでに防衛装備庁を発足させてます。力を

アンテナ
国民連合政権「提案に期待の声次々」

日本共産党が提案した戦争法を廃止させることの一点で協力し、安倍政権を倒し、『国民連合政権』を樹立しようという提案には、多くの皆さんから期待の声が広がっています。



各
三
呈
易

一
文
成
八
一

